

第23回 運営協議会

日時：令和2年12月11日（金）18:30～

場所：天理市役所 4階特別会議室

出席者：首長9人、組合事務局7名

局長：そしたらまず資料の方をまずご確認をいただきたいと思います。まずカラー刷りの入札予定価格についてという資料と、次に予定価格内訳という資料でございます。次に実施設計書、排水管布設工事という設計書を添付させていただいております。最後に奈良モデルについての資料、以上ですけれども揃ってございますでしょうか、そしたらどうします。

管理者：早速始めさせていただきます。先日議会の方でマテリアルリサイクル推進施設につきましても債務負担行為が基本的に見積に準拠した数字でご承認をいただいたわけなんですけれども、あくまでそれは予算限度額という事で、適正な価格を目指してしっかりやっていたきたいという事を議員の皆様からご指摘をいただいたという状況でございますが、今回は前回増額要因11.4億が元の前回の入札時の予定価格より上がっておる所の精査という所を含めまして、具体的にじゃあどの額で出していくんだという所をお諮りいただくのが一番重要な所になっておりまして、事務局の方からじゃあ説明してもらってよろしいですか。

局長：そしたらカラー刷りの方からご説明をさせていただきます。まず①というのが前回の予定価格になっております。①というのがこないだ臨時議会で議決をいただきました予定限度額という形の136億1,665万8,000円の金額でございます。②はこの1番が当初業者が見積もってきた金額でございますけれども、再度エックスから事業者の方に打ち合わせさせて再度出させた金額が130億6,225万8,000円という形で5億6,000万円の減額となっております。取り敢えず説明だけさせていただきます。そして③が事務局で次の予定価格、内訳表というのをちょっとご覧いただいたらありがたいんですけども、①の予算限度額というのが11億増加した分の内訳でございます。建設費として前回の予定価格から3.7億円増加しております。その内訳が1番、建設物価の変動が4.9億円、2番目が残土処理が不要となった分の1.5億円の減額、コロナ対策費が3,000万円の増額となっております。運営維持管理費の中で1番、増額分が人員の配置として8,000万円の増額、2番目が用役費として2.5億円の増額、3番目が前回の試算が甘かったという事で計上されてるのが3.8億円、4番目がコロナ対策費として6,000万円の増額となっております。この部分の中で赤線を引かせていただいておりますのが事務局としても認められる内容であるという事で、まず2番の残土処理が不要になった1.5億円の減額というのはこれはその通りであって、コロナ対策費も3千万円の増額というのは必要な分であろうと、次の運営の部分について1、2、3番については基本的に事務局としては増える要素がないものだという事で、4番目のコロナ対策費の6,000万円が増額された分については必要なものであろうという所に対

して、物価上昇分3番の所で金額二段書きになっておりますけれども125億2,612万3,500円、これが建設物価調査会の上昇指数を計上して計算した金額になっております。下の125億369万300円というのは国交省が全国平均で出した上昇額でございますので、事務局としては10都市ですかね、主要都市を分けて上昇率を出してる建設物価の方を採用した場合の125億2,612万3,500円というのは実際に計算をして出した金額となっております。取り敢えず今説明した内容なんですけれども、2回目に出してきた業者の見積金額についてもまだちゃんとした根拠に基づいてない所がありますので、この2番を採用するのも如何かなという所がございまして、事務局としては3番の精査した建設物価調査会に基づいた金額が妥当ではないかという事で、今日は一応こういう形で出させていただきました。ただこの事務局の出した金額で入札かけたとした時に、落札されるかどうかというのは五分五分。

管理者：五分五分か、どうですか。他、課長、如何。

課長：前の情勢からすると五分五分よりは落札する確率が高いと私は個人的には思っております。何が困ったのかと言いますと、本来今回の見積金額を求めた時に特記仕様書というか発注仕様書で変えた部分は、コロナの対策費の部分と残土の処理の部分、それとこれはマテリアルですんで、河岸浸食のラインより南側に建物配置する事、その3点が変更した内容でございますので、ここまで大幅に変更する見積が出てくるとは正直思っておりませんでした。それで一応事務局の中で精査、今局長が説明したように精査させてもらったらこの額やという事でございます。

管理者：はい、ありがとうございます。まずご質問は如何でございましょうか。私も②が出てきた時に突然5.6億の減額なんで、えらい極端やなという気がしたんですが、これは予定価格内訳もございまして通り、啓発施設の運用する年限が25年で見てたのに5年分だけにしたという事なんで、下がってるというか含めるべきでないものを含めてはただけでございまして、じゃあその後20年というのは別に又別途お金がかかってくるわけなんで、実質的に下がってるかというとなんなに下がってるわけでもないとも捉えられるという中で、今回事務局として精査してくれたもんでございますけれども、中身的な部分でのご質問はございませんでしょうか。あれですね、建設費についても全く同じなんじゃなくて一応これだったら妥当だろうという係数はちゃんとかけてるっていう事ですよ、事務局案は。

：これ中身的な事いうても、向こうから出てくる中身的なものというのは確たる根拠があって積算して出してきたものとちゃうんやろ、早い話が。

局長：その辺もまあ1回目の金額出てきたんで、この膨大な金額は何やねんという形でこちらから直接ではないんですけど、から事業者に問わせて再度出てきた金額がこの金額なんですけども、これについても確固たる根拠っていうのがないもんですから、どこがあ

っててどこが間違ってるっていう所も我々としても精査できないところもありますんで、3番で出したのが■■■■にも一応うちが出した金額が協議しましたけども、まあ妥当な数字だろうというところですので、後はこの事務局なり首長の皆さんに判断していただいて、どれを採択するかっていう話になってくると思うんですけども。

■■■■：我々としたら聞かれて答えられる数字でなかったら。

管理者：勿論そうです。

■■■■：うん。それが一番大事やから、要はキチっと法的な部分やとか色んなに基づいて積算ができてんねんと、これはこうですよ、これはこうですよって説明が出来たらええわけであらう。せやけど、ただ単純にコロナやから、資材上がったから、人適当に織り交ぜて何億って膨らませて、ちょっと言われたからといって5億程下げると、これでどうですか言われても、はいそれで結構ですという返事には恐らく誰も言う気せえへんと思うわな。

管理者：ですからそういう意味ではですね、事務局の③のやつははっきり誰かに聞かれたとしても建設物価調査会の建築費指数をかけたらこういう事になるという事なんで、それを答える事はできると。

■■■■：そうや、それが一番数字としては我々としては安心できる数字やとは今聞かしてもろて思いますわ。

管理者：ただ、局長が申しましたのは・・・見積で出てきた額よりは、この場合でしたら5.4億円分くらい②と③でも差がある形になりますので、こんなんやったらええわという事で不落になる可能性はないと言い切る事はできないと。ただしじゃあ相場観として我々別に見積の通りやらないといけないという決まりがあるわけではなく、あくまでそれは社会情勢を判断する為の参考でございますので、きちんと公金を運用するにあたって行政の方で判断したと言えればいいんですが、万が一の可能性っていうのはそりゃ認識はしとかなないといけないという事でございます。

■■■■：でもこの事務局案のこの数字ならしっかりと説明ができると。

局長：説明はできます。

■■■■：それやったらそれでその数字がええの違いますの。

管理者：他皆様、如何でございましょうか、順番に■■■■、如何ですか。

：1つだけ、ちょっと気になったのが運営維持管理費の啓発関連費等で前回の見積の試算が甘く計上した、この辺何か聞いてらっしゃいますか。ひょっとしたら必要な経費を今回がサッと削る事にならへんのかなと思って、甘かったから計上してるっていうのが妥当なのかどうか、その辺ちょっと何か聞いてらっしゃれば教えて欲しいんですけど。

局長：はっきり言って事務局として答えられる内容とすればその必要な経費なのか、そうでないのかちょっと確認はできないんです。ただ前回入札してたとすれば、当然この落札金額で落としてるはずなので、出来ない事はないという事務局としては考え方は持ってますけれども、ちょっと何ともそこまでは。

管理者：前日も予定価格自体がじゃあ本当にこうギリギリで削って無理のある額だったかという、そういうわけではないんだろうという事からすると、結局我々も事務局もどっかの業者とだけつるんでやってるっていうわけには参りませんので、直接会話するわけにはいかない。あくまで支援業者を通じてなので、どんだけ聞いてもこの紙に書かせていただいる程度の事しか出てこないとなると、そういった場合にはやはりちゃんと対外的に説明がつく形の数字でいった方がいいのではないかとというのが今回のご提案にはなっております。

：今日たまたまね、うちののからこの話が出たんや、一般質問が。しっかりと調整して欲しいって今日うちの議会でも言われてる話ですわこれ。

管理者：まあですからこれでちゃんと誰かが入れてくれたらという事ですけども、これであれば前回の①との差額というのは非常に少ないですし、コロナ対策費に関しても仮に運営維持管理の時点でもうコロナにそんなに余計に人は要らんという事になれば、更に下がる要素にはなってると思っております。竹村町長、更にございますか。

：他は説明ができる材料になってるのかなと思っておりますので。

：この啓発関連の分は発注仕様書と見積仕様書とはどうリンクしてんの。

課長：実はこの5.6億円なくなったという所は、見積を取って年間2,800万という見積やっただけなんです、内訳を聞きますと。で、2,800万を25年入れて見積もっておったという事が分かりましたので、最初の5年分だけしますと2,800万の20年分で5.6億円が減額されるという事が分かったと、そやからまあちょっと本来当初は運営は最初の5年だけで以降もちょっと契約の見直しをするという予定でございましたんで、それは全く不要の金額だという事が分かったんで5.6億円は不要というふうな計算になりました。

：①にはその部分は含まれてないわけですね。

課長：①は入ってなかったと。

：せやけど今の話聞いてたらこんな言葉使ってええのか、そんな雑い見積でちょっと指摘されたから何億も下げて又出してきたり、信頼性あんのかなと思うけど。ごっつい疑問に感じるねんけど。

管理者：そういう点からいたしましても、やはり見積にだけ・・・してしまうのも如何なものかという事で、今回きちんと説明がつく範囲のものを抽出したという形になっております。

：だから事務局で試算してもらってこの数字なら妥当で当然不落になるか、ならんかちゅうのはギリギリのラインやろうけど、さっき課長言いはったみたいにまあこれなら落札してもらえるのちやうかというような事であんのやったらね、それはそれでええでとは思いますが。

管理者：念の為の議論になりますけど、どの時点で誰も出してこないというふうに判断できるかというの、その時期によってどんだけ後ろに倒れるかっていうのがやはり変わってきてしまいます。ですから参加資格の申請書の時点で誰も居ないとか、その時点では居たけども、提案書が出なかったとか。ですからそれで最長で考えるとやはりそれは1年とか後ろに倒れるリスクがゼロとは言えないんですけども、そこはどう判断するかになって参ります。エネルギーの方とは違いますので、例えば本市で言えば現在の私共のクリーンセンターの敷地をすぐに撤去する予定ないんです。し尿処理がまだ残っておりますので。今まだマテリアル施設がガチとある状態ではないので、仮にマテリアルだけがもう少し後ろに倒れてしまったとしても、そこで一定の運用はしていく事は不可能ではないなというところは思っておるんです。今回焼却のごみについては、**〇〇**の分は今受けさせていただき事になっておるんですけど、ほんとに不慮の事があつた時には構成自治体の中で助け合いながらやっていくっていう方法もあるのかなとは思っております。どうしても運用上、不落のリスクがちょっとでもあつたら滅茶滅茶困るんやという所がありましたら、そこは一応考慮には入れないといけませんし。

：変な事聞くけど、不落にしてくる可能性ってある。

局長：分かりません。我々としては先程五分五分と言った時に課長は入札してくる可能性は高いと、事務局としてもそういう思いは持ってますけれども、分からないんでこれはちょっととつかかかっていかないと。

：まあまあそうしか答えられへんと思うけど。ただこう穿った見方でな、こういう事を業者に対して何ちゅう見積りすんねんってっていうような話で例えばその**〇〇**を通じてこんないい加減とか、色んな話が事務局の方からいってて、例えばこういう金額になった

と。向こう分かってるわけやわな。どういう形になっていくかっていうのは。

局長：まあその時に向こうとして、そういう今仰ったような形をしてくるかどうか、分からないですね。

管理者：本当にそこが見積で再修正したやつ通りにしか予定価格はなっていなかったら、我々として他の候補っていうのは全くありませんというふうに言ってるに近いわけなので。

：極端に言うたら嫌がらせ的な事はしてけへんやろなちゅう話やわな。

局長：そこはないとは思いますが。

管理者：えっと順番的にあれですが、、如何ですか。

：いや、私はそやから事務局の方がね、こういう数字を示してきちんと対応できるという数字を示してくれたんで、この数字でね、十分対応できるやろ。

管理者：いいという事ですね。、はい、分かりました。、如何ですか。

：はい、今仰った事と同じで、3番目ちゃんと説明ができるっていう事であればこれで3番でいっていただいたら一番いいかなと。

管理者：よろしいですか。

：はい、結構です。

：大丈夫です。不落の可能性あってもうちの場合は天理市さんに又お願いするという形にはなるかなと思いますけど、ただ影響ある所っていうのがご意見っていうのが多分不落になった時のっていう所が。

管理者：恐らくに影響があるかなと思っておって。

：それは皆さんに助けていただけの部分と、民間委託もありますんで、どっちみち民間に委託しますので、これで無理して全体の不利益にならないようにしていただいたらと思います。

管理者：成程、、如何ですか。

：もうこれで。

管理者：、如何ですか。

：実際の所この積算の根拠何や言われたら分からない。だからある程度の事信頼せざるを得んし、どうせこれ建築と機械ですので、杭1本まで計算してるわけやないから、ある程度は一式の方がいっぱいあるからその積み上げなんで、ちょっとは・・・あるけどそりゃもう何々一式、何々一式なんて出してきよったらそのまだ内訳を精査せいで言われたって我々そんな事は出来ないんで、ある程度事務局さんが精査してくれはった分を信頼していくしかないのかなと私は思いますが。ただまあ1つはここで前回の見積は試算が合わんとこれだけ書いておきたかったなあと。

管理者：それ言ってきたらですね。

課長：そうです。

管理者：メールか何か残ってるんですね。

主査：あります。

：元々ええ加減な・・・ここん所がちょっと疑問は残しますけど、これはもう・・・たら事務局さんでしていただいたんで、ゴーサイン出していいかなと。で、これは焼く方と違うんで、建築と多分機械やと思うんで、それなりに業者結構ありますやんか。そのランクでね。だからそれが不落になるかどうか分からんけどなる可能性はあっちのプラントよりは低いかなと思います。

管理者：、如何ですか。

：事務局の③でええかなと、仮に落ちへん더라도っぺんやらなしゃーない・・・。

：不落になったら不落になった時やんな。腹くくっていなしゃーない・・・。

管理者：我々としては単に見積だけという事ではなくて、前回出したものからきちんと説明がつく範囲のものという事で③番で、これがじゃあ何故っていう事については予定価格を公表する前に議会もご関心だとは思いますが、金額を細かくまでちょっと言ってしまうと問題かなと思いますので、丸めた数字というか事務局で試算したら物価変動で不足部分と残土で引いた部分からしたらほぼほぼ前から微増ですぐらいの説明を議会の皆さんにはさせていただく中で予定価格を出していくという事をいたしたいと思いますが、よろしい

でしょうか。事務局よろしいですね、それで、はい。

■■■■：多少のコロナ対策費とかそんな程度ならな、多少は目つぶれるけど。そんなん無茶苦茶積んだらあかんわ。

管理者：ではこのマテリアルの予定価格についてはご承認いただきましてそのような形にさせていただきます。ちょっと又後日議事録の方、作成して皆さんにご確認をいただきたいというふうに思いますので宜しくお願いを致します。

■■■■：局長もう回収やな。

局 長：回収させていただきます。

管理者：それではもう1つちょっと細かい案件で恐縮なんですけども、前回リサイクルではなくて焼却施設の方の雨水管が出ていく先の池の話というのをちょっとさせていただきましたけども、その見積が出てきたという事で、ちょっと事務局の方から説明をお願いします。

局 長：すみません、前回ご説明させていただくように排水管が元々■■■■の土地やったんですけど売買されて地権者が変わりました中途半端な所で止まっているという事で、その配管を接続する為の費用を、相手が材料費だけを出してきましたので、その材料費に合わせて設計書で随意契約という形をさせていただきたいと思っておりますので、括らせていただいた金額が72万4,900円という形ですんで、これをちょっと流用させていただいて相手業者と随意契約させていただきたいという事でご承認をいただきたいと。

管理者：後ろから2枚目にちょっと図面がございます。ここの・・・にかかるところですね、がその材料になっております。よろしいでしょうか。はい、すみませんありがとうございます。ご審議いただく中身は以上なんですけど、ちょっともう1点ご相談しなければならないというか、情報共有しないといけない点がございます、局長以外出ていただけますか。

以 上